

養育費に関する申告書

○前年（請求が1月から9月までの方は前々年）の1月から12月までの1年間に受け取った養育費について、裏面の記入要領及び別紙の「養育費について」を参考に記入してください。

○養育費を受け取っていない方は合計欄に「0」又は「なし」と記入してください。

支払者の氏名	受取人	養育費の額	受 取 状 況
	父・母・児童	円	
合 計	父又は母	円	
	児童	円	

上記のとおり相違ありません。

令和 年 月 日

氏名

※受付年月日	令和 年 月 日	※区担当者名	
--------	----------------------	--------	--

（注1）記名押印に代えて署名することができます。

（注2）※の欄は記入する必要はありません。

養育費に関する申告書の記入要領

1 この申告書の目的・趣旨

この申告書は、前年に前夫又は前妻から養育費を受け取っているのかどうか、また受け取っている場合にはその額を確認するためのものです。

2 養育費について

① 前夫又は前妻（児童扶養手当の支給対象となっている児童の父又は母。以下同じ。）から前年（1月から12月までの1年間をいいます。ただし、1月から9月までの間に請求する人の場合には、前々年をいいます。）に、受給者又は児童が受け取った金品その他の経済的利益（以下「養育費」といいます。）がある場合には、その額を記入してください。

② 養育費は、児童扶養手当法施行令第3条により、児童扶養手当制度における所得となりますので、正確に申告してください。

③ 養育費として含まれるのは、具体的には別紙で定めるものです。

④ 前夫又は前妻が複数あり、それぞれから養育費を受け取った場合には分けて記入してください。

また、支払者の氏名欄には区別できるよう前夫又は前妻の名前等を記入してください。前夫又は前妻が1人の場合には、この支払者の氏名欄は空欄で結構です。

⑤ 受取状況欄には、次の例に従って記入してください。

例1 毎月5万円で12か月間受け取っている場合には、「月々5万円、12か月分」と記入してください。

例2 4月、8月、12月の3回に、それぞれ1万円、3万円、5万円を受け取っている場合には、「年3回1万円、3万円、5万円」と記入してください。

例3 年に1回10万円受け取っている場合には、「年1回」と記入してください。

（10万円は養育費の額の欄に記入してください。）